

3、多くの人に「尖閣研究」読んでほしい

尖閣の基本知識が得られる「尖閣研究」シリーズ

ここでは、「尖閣研究」をPRさせていただきます。

これまで見てきた「尖閣研究」は、5つのシリーズからなります。

学術調査：「尖閣研究 高良学術調査団資料集上下巻」（2007年刊）

漁業活動：「尖閣研究 尖閣諸島海域の漁業に関する調査報告 2009年」

「同 2012年」「同 2014年」「同 2017年」

各シリーズの内容は、本ホームページの「調査成果物—おすすめの『尖閣研究』シリーズ」には、「発刊のあいさつ」「目次」などを紹介しています。

どのシリーズでも、どこからでも、読んでもよいことが分かります。

手記や聞き取りですから、1つ1つが完結したストーリーになっており、一般の人に分かりやすく、平易な内容になっています。

また、「文献書庫」には、下記の内容を紹介しています。

学術調査 海岸で鯉の釣れる島 卵と鳥で島は一ぱい
経済界の支援で 南北小島へ
オフレコで調査を続行 恐怖と驚きの連続!!
海鳥ヒナの特訓を探し求めて 無人島のヘビの墓場
エカップエ報告書が発端 第三紀の砂岩（海成層）に安堵

漁 業 終戦直後、南小島でカツオ節製造も
ゼロ戦、飛行機残骸も 生活跡もあった
舟艇改造し尖閣へ ダツ追込で、3カ月間、島に滞在
深海一本釣の好漁場 南九州からも出漁
尖閣では 赤サンゴ？ 草も揚がる
電灯潜り 島周辺 最高の漁場だった

いずれも興味をそそるか内容かと思います。

尖閣諸島は、「海鳥の楽園」「アホウドリの島」であり、黒潮回廊の只中にあり
豊饒な海、魚の宝庫、国内有数の好漁場です。

わが国の宝の島であることが分かります。

これら学術調査や漁業の話を通して、尖閣全般について知識—古賀氏による尖閣開拓や4つ島があり、各島の特長、魚釣島に唯一水があり、北小島は海鳥が棲む岩島である。さらには領土問題、海底油田のこと、等々。

尖閣諸島開拓の歴史や現在の問題についての基本知識が得られます。
その意味からも、「尖閣研究」シリーズは、格好の入門書です。



尖閣研究 高良学術調査団資料集上下巻（2007年刊）

また、「尖閣研究」シリーズは、日本が実効支配してきた「歴史の証人たち」の貴重な「証言集」あり、「先人たち」が、後世の私たちに遺してくれた大切な「遺言書」とも言えます。

このようなことから、国民の必読書でもあります。

「尖閣研究」シリーズを、ぜひ多くの人に読んでほしいです。

各シリーズの頒布価格は、下記の通りです。

①：「尖閣研究 高良学術調査団資料集上下巻」（2007年刊）

上下揃い（箱入り：5,000円 箱なし：4,500円）

②：「尖閣研究 尖閣諸島海域の漁業に関する調査報告 2009年」

③：「尖閣研究 尖閣諸島海域の漁業に関する調査報告 2012年」

④：「尖閣研究 尖閣諸島海域の漁業に関する調査報告 2014年」

⑤：「尖閣研究 尖閣諸島海域の漁業に関する調査報告 2017年」

①～⑤：各巻2,000円 ②③④：3巻揃い箱入り6,000円

送料：①上下巻 ②～⑤のうち2巻 赤レターパック520円

②③④：3巻揃い箱入り：ユーパック（60サイズ）料金

印刷部数が少ないため、市販していません。

本編纂会宛に、メールまたは、ファクスで直接ご注文下さい。

(ホームページ「ご連絡・問い合わせ」参照)



尖閣研究 尖閣諸島海域の漁業に関する調査報告 2009年 2012年 2014年 2017年

皆様が、ご購入下されば、私たち編纂会の今後の調査活動への励みになり、調査資金の一部に使わせて頂きます。

ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

県外取次者 販売協力者を求めています

本編纂会へのご注文は、地元沖縄から郵送になります。

そのため、代金に、郵送料が余計に加算されます。

このようなことから、県外に取次者を求めています。

尖閣諸島問題に、関心を持ち、私たちの編纂会の活動の趣旨に賛同下さり、販売・頒布に協力下さる方を、県外各地に求めています。

一冊からでも構いません。年齢も問いません。

希望される方は、メールまたは、ファクスで、ご連絡下さい。

条件、その他について、お話を頂きます。

ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

(了)